

第2期別海町まち・ひと・しごと創生総合戦略（原案）に寄せられた意見に対する別海町の考え方について

令和元年12月10日から令和2年1月8日まで、第2期別海町まち・ひと・しごと創生総合戦略（原案）に係るパブリックコメントを実施したところ、2個人、1法人、20件のご意見・ご提案をいただきました。

寄せられたご意見等を公表するとともに町の考え方を示します。

なお、提出されましたご意見等については、原文を尊重し掲載しておりますことを申し添えます。

No.	提出された意見	町の考え方	所管課
1	<p>光回線が利用できるようになれば、便利だと思います。</p> <p>利用の実現が難しいことは想像できますが、今後地域に人を留まらせる、呼び込む（移住、観光を含め）には、不可欠になってくる事柄の様に思います。</p>	<p>基本目標Ⅳ「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る」(P26)の現状と課題に記述のとおり、本町の高速無線環境に不便を感じている町民の方々もいることから、課題解決に向けた取組みが必要であると考えています。</p> <p>具体的な施策として、町の通信環境の方向性を示すための基本構想の策定を進めるとともに、現在、令和元年度に新たに公表された国の補助金を活用した光回線の整備、フレッツ光サービスのエリア拡大に向け、NTT東日本等関係団体と協議を進めています。</p>	総務課
2	<p>0歳児からの保育、託児等の充実。</p> <p>酪農などの特殊な時間で仕事をする人たちが、小さな赤ちゃんを預けて仕事できる環境があれば助かると思います。</p> <p>祖父母などを頼るという方法も限界がありますし、新規就農の方はそもそも無理なので……。早朝から赤ちゃんを家にそっと1人残して来て、ずっと大泣きさせてしまったこともあります。他の方からもよく聞く話です。</p> <p>また、小さな赤ちゃんを寒い中、衛生的とは言えない環境に早朝から連れて行くのも心苦しいです。私自身、良い方法が見つからないか、早く良い方向に改善できなかと考える日々です。</p>	<p>新規就農者等酪農従事者が、乳児等お子さんの預かりを希望されているとのことをご意見をうかがっていることから、どのような支援体制整備が可能であるかなどについて、農業協同組合担当者、町福祉部署・農業関係部署職員により課題の共有、解決に向けそれぞれの立場での役割を含めた意見交換を進めているところです。</p> <p>現状、事業の実施には至っていませんが、今後も関係部署・機関において、このような町民の皆さんのご意見を参考とさせていただくとともに、地域の実態把握に努め、真に必要で継続可能な支援策の協議を進めていきます。</p>	福祉課

3	<p>第1章について 策定の趣旨の中に「特に人口減少問題を発端とする諸問題への対応を主な目的とする」という記載があります。人口減少が別海町にどのような影響を与えるのかという「諸問題」に対する具体的な記載が見当たりません。是非、総合計画に通底する概念として、どのような「諸問題」が懸念されるのかをより具体的に書き加えていただけますと総合計画がより具体性を持ち、ひいては町民の参画に繋がるのではないかと愚考いたします。</p>	<p>「特に人口減少問題を発端とする諸問題」として、就業者や担い手の確保が困難になること、少子化に伴う児童・生徒数の減少により学級数の維持が困難になること、高齢化による要支援・要介護者の増加が見込まれることなどがあげられますので、総合戦略への記載について検討します。</p>	総合政策課
4	<p>第2章について 昨年末には国内の出生数が推計より2年早く90万人を割ることが発表されました。また別海町においても将来人口推計の「別海町人口ビジョン」で示された推計値9,935人目標値11,500人と、新たな推計値7,656人との間に、大きな乖離が生じていることが第2章において明らかにされています。「第1期別海町まち・ひと・しごと創生総合戦略」において取り組まれた4つの基本方針に基づく施策が、残念ながら奏功したとは言い難い結果が明らかになったと言えます。</p> <p>① しかしながら第2章においては推計が下ぶれしたことを受け、新たに推計を行う旨の記載がありますが、「第1期別海町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の効果どれくらい影響しているのかの観点で為された検証・評価の記載がありません。第3章以降は「第2期別海町まち・ひと・しごと創生総合戦略」における基本方針の記載へと移っていくことを考慮いたしますと、「第1期別海町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の効果検証についての言及がこの第2章において為されなければ、第3章以降の</p>	<p>第1期総合戦略の検証については、別海町まち・ひと・しごと創生総合戦略検討推進委員会での意見等をいただき、毎年度検証作業を行っているところです。</p> <p>また、これまで取り組んできた新規就農者の確保や子育て・福祉施策の効果も人口減の抑制には一定程度の効果があったと考えています。これまでの施策の効果を定量的に検証できるものについては、総合戦略の新たな施策に生かしていきたいと考えています。</p> <p>なお、第2期総合戦略内に第1期総合戦略の効果検証について記載することは考えていませんが、第1期総合戦略の評価・検証等については、ホームページでも公開していますので、ご参照ください。</p>	総合政策課

	<p>計画そのものへの妥当性が薄くなってしまうことを懸念いたします。人口減少を追認するだけの計画であるとの誤解が生じないように、「第1期別海町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の評価を追記いただくことを希望いたします。</p>		
5	<p>② また具体的な人口推計を社人研による推計と別海町独自の推計を併記していただいておりますが、総合戦略における施策対象の具体性（ターゲティング）に鑑みますと、例えば5年階級別表を男女別の数値まで記載することが望ましいと思考いたします。さらに7頁にある「人口の将来展望」に社会動態の影響の大きさ、改善への言及がある事を踏まえ、社会動態も同じ5年階級男女別の実態を記載いただきます事を希望いたします。</p>	<p>卷末資料として掲載することを検討します。</p>	<p>総合政策課</p>
6	<p>第3章について 第1期の基本目標が基本的に維持される方向が示されていますが、第1期の計画と事業が十分な効果が得られたかの検証・評価の記載が無いことで、基本目標を維持する理由が分かりづらいと感じます。第1期はKPIの設定とPDCAサイクルの確立が謳われていましたが、第2期が第1期のKPIの達成度合と妥当性を踏まえ、また第一期のPDCAサイクルにより策定されていることが残念ながら読み解けません。 第1期において推計された数値より第2期においての推計が下ぶれしている事を考えますと、KPIがどれくらい達成されたか、KPIの設定が計画目標の達成に適切であったか、を含めて人口減少を食い止めるために「第1期別海町まち・ひと・しごと創生総合戦略」がどれくらいの効果を生んだのかをCheck（評価）</p>		

	<p>することがAction（改善）の前提であり、PDCA サイクルにおいて第2期のPlan（計画）→Do（実施）の妥当性を確保することにつながると思考いたします。</p> <p>① 基本目標Ⅰについて</p> <p>別海町人口ビジョンによると社会増・減の影響が最も大きく数字に現れているのが15才～29才までの年代だと読み取ることができます。特に人口減少に大きな影響を与えるのが、出産適齢期世代の女性の転出だと考えられます。合計特殊出生率（一人の母親から生まれてくる子どもの数）が高くても、母親そのものの数が少なければ出生数も減少いたします。</p> <p>昭和60年、平成12年、平成26年の人口ピラミッドのどれを見ても、20～24才女性の人口割合が特に低くなっている事は、これまでこの世代の女性の社会減の改善に有効な施策が不足していた事を表しています。</p> <p>この事を考えるとき、基本目標Ⅰの中に若い女性に向けた視点が薄いことが気になります。進学などの理由で街を離れた若年女性（大学・専門学校卒業後）を呼び戻す事に特化した、魅力的な産業育成・雇用拡大施策を盛り込むことはできないでしょうか。またKPIに社会減の改善が具体的にみえる数値は盛り込めないでしょうか。</p>	<p>若年女性に特化した施策ではありませんが、若年層に魅力を感じてもらえるよう、「担い手プロジェクト事業」、「新規就農者等支援事業」、「地域おこし協力隊推進事業」、「起業家支援事業」、「地域雇用活性化推進事業」、「中小企業担い手育成事業」及び「UIJターン新規就業支援事業」を推進します。</p>	産業振興部
7	<p>② 基本目標Ⅱについて</p> <p>交流人口を増加させるために観光客入込客数とその宿泊数を増加させなければいけないという方針には賛同いたします。これに対して、夏季の観光シーズンに町内宿泊施設がスポーツ合宿などにより不足することは、観光入込客数や新規観光客の獲得に少なからず影響を与えている事を懸念いたします。もちろんスポーツ合宿誘致やマラソン大</p>	<p>全ての宿泊施設を対象とした夏期における具体的な確保対策は設定していませんが、「キャンプ場整備事業」を推進することで、観光客及び滞在時間の増が見込まれます。</p> <p>なお、冬期間は宿泊施設の稼働率が低いため冬期観光メニューを整備し、通年の稼働率上昇に努めます。</p> <p>また、「観光情報整備事業」を通じ宿泊施設の紹介を深め、町内全体での利用増に努めます。</p>	商工観光課

	<p>会の実施が好影響を与えていることも無視できませんのでこの両立に知恵を絞らねばなりません。夏期宿泊施設の確保を具体的な施策の中に盛り込むことはできないでしょうか。</p>		
8	<p>③ 基本目標Ⅲについて 「子ども・子育て支援事業計画」に基づき各種事業を進めているという記載がありますが、「子ども・子育て支援事業計画」が、ニーズ調査を正確に反映したものになっていないことが心配です。 幼児教育・保育と子育て支援の充実は、過疎が進む島根県において「日本一の子育て村構想」を打ち出し人口減少を食い止め子育て世代の移住が増えている邑南町の例にもあるように、人口減少を食い止めるために大変重要な施策です。 子育て世代の移住を促進するには、現在町内に暮らしている子育て世代のニーズを満たす事をベースとして、子育て世代の移住に対応できる余裕と戦略が必要となりますが、残念ながら「別海町子ども・子育て支援計画」は、町内アンケートによるニーズ調査に現れた町内ニーズよりも、今までの提供実績に基づく実績値をベースとした記載が多く、ニーズが実際より小さく見積もられています。また広範な地域を一つの提供地域と捉えて、きめ細かい地域のニーズを見えなくすることで、待機児童が表面化しないように数字を調整しているとも誤解されかねない記載となっています。 子育て世代の移住者受入促進の為に、「別海町子ども・子育て支援計画」の充実を望みます。</p>	<p>現在、町では、第2期の「子ども・子育て支援事業計画」策定を進めており、策定にあたっては、町内の小学生以下児童の保護者等を対象に調査を行い、把握した利用希望等を、各子育て支援事業等の参考とさせていただいております。 いただいた貴重なご意見につきましても、今後の計画策定の参考とさせていただきます。</p>	福祉課

9	<p>④ 基本目標Ⅳについて 起業支援の一環として「新たな保育施設の開設」を具体的な施策に盛り込む事を提案いたします。</p> <p>これまで私見を述べさせていただきましたが、若い世代の女性を雇用する職場確保の観点からも、子どもを生み・育てやすい地域の創造という観点からも、子育て世代の移住促進という観点からも、人口減少を食い止めることに一定の効果が望めると考えます。</p> <p>また、平成27年から始まった「子ども・子育て支援新制度」は多様な保育受け皿を想定しているので、過疎に向かう地域に小規模な保育施設を維持しながら、その施設を基点とした子育て支援やコミュニティー活動の充実を実現できます。さらに小規模な保育施設は新しい園舎を必要としない(空き家・空き店舗などの活用を含め)為、開設に伴う支出(イニシャルコスト)も低く抑えられるのが特筆すべき点だと考えます。</p>	<p>ご提案いただいた内容につきましては、基本目標Ⅲの基本的方向で、「次代を担う子どもが健やかに育つよう、保護者が安心して子育てができる多面的な子育て支援施策を計画的に推進する」と明記しており、ご意見のありました内容が含まれていることから、この基本目標Ⅳでの記載は考えておりません。</p>	福祉課
10	<p>第4章について KPI と PDCA の確立について未来に向けた具体的な取り組みの記載を望みます。失礼ながらこれまで戦略検討推進委員会が効果的に機能したとは言い難いと思います。総合戦略では Wi-Fi や SNS、e-ラーニングやソサエティ 5.0 など謳いながら、それらを推進する委員会の会議が古いままでは実効性のある計画実行を担保できません。ぜひ、KPI の評価や PDCA サイクルの確立にむけて、ICT や若い世代を活用した委員会運営の具体策を記載して下さるよう希望いたします。</p>	<p>まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証については、「別海町まち・ひと・しごと創生総合戦略検討推進委員会」の意見等をいただきながら改善・推進していく仕組みとなっています。</p> <p>また、「総合戦略検討推進委員会」の構成員につきましては、住民団体及び「産・官・学・勤・労・言」の各団体から委員を推薦していただいているところです。</p> <p>これまで以上に活発な議論が進むよう、委員会と行政も一体となりながら進めていきたいと考えています。</p>	総合政策課

11	<p>パブリックコメント(以下「パブコメ」)受付期間(12/6~1/8)30日間について</p> <p>特に年末年始を挟む期間は、皆さんは非常に忙しい時期であり、この内容ボリュームからして意見や提言を述べるまでには非常に時間が足りないと感じました。</p> <p>昨年の7次計のパブコメも同様に感じました。</p> <p>種々事情があるものとお察ししますが、どちらも町全体の方向性を問う非常に大切な案件であり、少しでも多くの意見等を出して頂くためにも、今後パブコメ期間をより長くにとって欲しいです。(ちなみに、もう1件使用料・手数料見直しに係るパブコメは、47日間の期間をみています。)</p>	<p>町民の皆様から多くの意見をいただけるよう、パブリックコメント受付期間の設定について検討していきます。</p>	総合政策課
12	<p>P1 策定趣旨 中段、p14 表下段 UIJ ターン新規就業支援事業</p> <p>「人口は東京への一極集中…」⇒「札幌圏」も併記してはどうか?</p>	<p>札幌市では転入超過傾向が見られますが、北海道全体では転出超過傾向であるため、ここでは、三大都市圏の中でも東京への大幅な転入超過が続いている「東京への一極集中」と記載としています。</p>	総合政策課
13	<p>p13 1 数値目標</p> <p>生乳生産額 6年度 541億円 ……12%58 億円大きな伸び 離農戸数が相当数見込まれる中で、生産量は減少するかと思われませんが、営農者の規模拡大が増加するとの予測から、この伸びを見込んだんでしょうか?</p> <p>漁業総生産額 6年後 100億円と2億円増額目標</p> <p>生産額を減額の目標にはしたくありませんが、太宗漁業である秋鮭が、ここ数年原因不明の不漁に見舞われてます。今後の漁獲も不透明な状況下で、現状より上向いた目標となっておりますが、増殖事業など鮭以外の漁獲を見込んでの数値と理解して良いでしょうか?</p>	<p>【生乳生産額の目標について】</p> <p>御意見のとおり、農家戸数は減少傾向となっておりますが、規模拡大等により生乳生産量及び生乳生産額も増加傾向となっており、これらの状況及び過去データを踏まえ、目標値の設定をしています。</p> <p>【漁業生産額の目標について】</p> <p>漁業関係者の努力や、これまで実施してきた増殖事業により、ホタテ等、漁獲量・金額ともに安定しており、これらの状況及び過去データを踏まえ、目標値の設定をしています。</p>	農政課 水産みどり課

14	<p>p15.16 (ウ) 若者人材の育成と定着の取組</p> <p>別海高校(酪農経営科)を例にします</p> <p>別海高校の普通科・酪農経営科の増員を図るため、具体的な補助など9事業にも及ぶ支援が行われています。是非内容をより充実して欲しいです。</p> <p>ただ出願者数は、普通科3学級確保も予断は許さない状況。酪農経営科に至っては、二桁人数確保がやっとの状況です。</p> <p>特徴として、別海高校から離れた酪農関係施設通いでの学習活動となっています。</p> <p>このため、ここでしか経験できない生徒が学習活動できる、特徴を持った施設、生徒に魅力ある学習が出来る施設づくりに向け、一層研究と知恵結集し形成して欲しいです。</p> <p>また2年前より教育振興会から「別海高等学校の魅力」と題して情報発信されており、是非継続して欲しいです。</p> <p>お隣「中標津農業高校」は、最近も生産工程の安全性を認証する規格JGAPを乳用牛・生乳で取得し全国初という活動が新聞掲載されたり、写真を中心とした農業高校便りを定期的に発行され、実態が良くわかります。高校と農業施設が一体となった強みが発揮されてるようみえます。</p>	<p>町で行っている別海高等学校の教育支援事業等につきましては、必要に応じて内容の見直しを行いながら実施しています。</p> <p>今後も、最大の効果が発揮されるように、別海高等学校と協議しながら支援事業等を継続して実施していきます。</p> <p>別海高等学校では、別海町酪農研修牧場及び町内酪農家での実習や、子牛を借受けて学校内で飼育する等の酪農教育を行っています。</p> <p>町としては、別海高等学校の特徴ある施設づくり、魅力ある学習の実施に向けて、関係機関及び地域と協力し、取組を行っていきます。</p> <p>昨年度から別海高等学校教育振興会で発行している別海高等学校のPR資料は、来年度以降も継続して発行する予定です。</p> <p>町では、別海高等学校の魅力ある学習活動が多くの方々に伝わるよう、今後も情報発信に協力することとしています。</p>	学務課
15	<p>p17(エ) 地域と連携した特色ある教育の推進</p> <p>後段 別海型の学校教育を構築し、……</p> <p>表中 別海型コミュニティスクール</p> <p>上記 「別海型」の特徴について簡略な解説を……</p>	<p>【別海型の学校教育】</p> <p>少子高齢化、グローバル化、情報化が進む中、本町は「ふるさと べつかいを支える教育」と「目の前の子どもたちの未来を見据えた教育」を柱として教育行政に取り組んでいます。</p> <p>『ふるさと・別海を支える教育』については、具体的には、少子高齢化が進み、多くの地方自治体で人口減少への歯止めが課題となっている中、「地域とともにある学校づくり」そして「学校を核とした地域活性」を目標に進める『別海型コミュニティ・スクール』</p>	学務課

		<p>の推進です。</p> <p>それとともに進めなければならないのが、本町の将来を担う『目の前の子どもたちの未来を見据えた教育』です。</p> <p>報道等で取り上げられている AI 等が発達した 2030 年以降のソサエティ 5.0 の社会、『変化が激しく予測が困難な時代』をむかえる中、知識の蓄積にとどまらない AI やロボットがいくら発達しようともできない、人間の強みを生かした対話力やコミュニケーション能力を培い、他者と協働して課題解決にあたる力等を育成する必要があります。</p> <p>その中で、学力が高く古くから主体的な対話活動を進めている秋田県横手市を先進地視察しそれを取り入れる授業を行ったり、読解力向上のための読書活動や新聞を教育に活用する教育である N I E 等を進めています。</p> <p>【別海型コミュニティ・スクール】</p> <p>本町型のコミュニティ・スクールとは、本町は広大な面積に、小・中学校が対になるとともに保育園または幼稚園が設置されている特性を活かす「保育園、幼稚園、小・中学校の連携」を図りながら、より一層「地域とともにある学校づくり」を推進することで「学校を核とした地域活性」が図られると考えます。</p> <p>それを目標にし、本格実施から入るのではなく、試行期間（平成 28 年度から 3 グループに分けて二年間）を設けて、その中で、新しい事業のみを立ち上げるのではなく、地域と学校の信頼関係のもと、地域の今ある仕組みや事業を生かしながら、各地域の実情に応じた取組を進めていくものです。</p> <p>また、その際に土台となるのが、地域・保護者・学校が今までどちらかと言えば方向性がバラバラだったと言われる（地域は地域の安定等から生徒指導面を優先する傾向、保護者は自分の子どもを中心とした我が子主義、学校は教育活動の中で全人格的な教育を進める傾向にある）「地域としてめざす子ども像」を協議、共有、設定し、連携・協力していきます。</p>	
--	--	---	--

16	<p>19 観光関係</p> <p>酪農と漁業の町「大別海」をより良く知ってもらう施策を！来てもらって、観てもらって、感じてもらう 満喫してもらえる施策で繋ぎたいです。</p> <p><道外からのお客様案内の私案例></p> <p>釧路方面から(272号)酪農研修牧場(高校生も実践学習)～(243号)町育成牧場～パイロットマラソン直線コース～国道沿い牧場見学～別海酪農工場(乳製品)+郊楽苑(休息食事温泉)～</p> <p>新酪展望台～奥行公園(駅通、旧駅、気動車ほか)～(244号)野付風連道立自然公園(本別海、走古丹)～尾岱沼道の駅(北方領土館)～野付半島.海を左右に見ながら原生花園～ネイチャーセンター 野付先散歩～中春別 根釧パイロットファーム 昨今(資料館)～ (可能な範囲で別海10景)</p>	<p>本町に興味を持っていただき、より良く知っていただくことを目的に「観光情報整備事業」を推進します。</p>	商工観光課
17	<p>20 中段表中 ふるさと納税寄附件数 6年度5,000件</p> <p>平成30年度2,240件、6年後で倍増目標、多い事は大変嬉しい事ですが、倍増の確かな見込みがあつての目標でしょうか？</p>	<p>初めてポータルサイトを利用した平成29年度は1,277件、平成30年度が2,240件、令和元年度は、2,800件程度の寄附件数を見込んでいます。以後、各年度600件程度の増を見込み目標としています。</p> <p>更にふるさと納税を通じて本町との関りを持っていただくよう、令和2年度以降はポータルサイトの拡充を含め、事業内容を見直しすることを検討しています。</p>	総合政策課
18	<p>30 評価指標 表中 ふれあいトーク宅配講座</p> <p>講座数令和6年50倍増する素晴らしい取組に期待しています。</p> <p>「原則平日」開催と朱書きで表示されていますが、受講者側の事情で土日であれば参集できない場合があります。各々部所で職員対応など種々事情があるかと思いますが、是非土日対応を検討頂きたいです。</p>	<p>ふれあいトーク宅配講座の実施に係り、様々な場所や日時での開催要望があることは把握しておりますが、役場職員が講師となることから、勤務時間内での開催としております。</p> <p>申請のあつた団体に対しては、個別に日程を調整しておりますので、まずはお電話でお問い合わせいただければと思います。</p> <p>今後もより多くの町民の皆さまからの質問に答え、行政活動の理解が得られるよう講座メニューを整備していきますので、御理解と御協力をお願いします。</p>	生涯学習課

19	<p>その他1 前年度 小中学生の未来を考えるアンケートから 「別海町のことが好き」の割合がかなり高いですが、「地元高校進学」や「大人になっても別海町に住みたい」の割合が非常に低いという結果がありました。 「別海町が好き」が多いことは大変嬉しいことで素晴らしいことです。 官民こぞって夫々の立場で、同じ目線で意見を出し合って、良い方向へ高めていくよう活躍されんことを願うものです。</p>	<p>今後も本町に住み続けたいと思う方が増えるよう、町民の皆様方と行政が一体となり共にまちづくりを進めていきたいと考えています。</p>	総合政策課
20	<p>その他2 前年、町7次総合計画パブコメで、「町の面積」数値を問い合わせましたが、町HP第一画面の修正が未だなされていませんので、ご確認下さい。(町の考え方No.13では修正した旨記載あり)</p>	<p>トップページの町の面積を修正しました。</p>	総務課